

あたらしい絵本 No. 524 2026. 3. 24



『ぴかぴかころりん・ぱ!』 ひらぎ みつえ／作

・わっかの“ころりん”を、「かくかく」や「ぐるぐる」などのコースで動かして遊ぼう。あかちゃんが喜ぶキラキラピカピカ、くるくるまわる手触り、楽しい擬音語と、視覚・触覚・聴覚に楽しくはたらきかける新しいしかけ絵本。(幼0～2歳)



『くだものらららん』 金内 織恵／作

・りんご、みかん、ばなな、めろん、すいか…。植物画家が、くだものが実るようすをみずみずしく描いたあかちゃん絵本。オノマトペや心地よいリズムとくり返しの言葉は、あかちゃんにくだもの美しさと鮮やかさを届けます。(幼0～2歳)



『よるのミニカーたんけんたい』 関根 知未／作

・よる、ミニカー探検隊がひっそりこっそり動き出した。犬を起こさないように静かに走って、待っていたねずみさんといっしょに探検に出発。階段のわきの長い坂道をのぼって、上のお部屋に行ったら…。(幼0～2歳)



『ぱ・ぴ・ぷペンタくん』 柴田 ケイコ／絵

・ぱくぱく、ぴよんぴよん、ぷっぴー、ぺちぺちぺち、ぽろぽろぽろん…。おでかけしたペンタくんが、いろんなどうぶつたちと、さまざまな音に出会います。赤ちゃんがよろこぶ絵本。(幼0～2歳)



『ネムとブン』 古沢 たつお／さく

・ネムとブンは、100ぴきのねこのかぞくの中の仲良し2ひき。ブンは怒りながらも、寝てばかりのネムの世話をしあげて…。ネムとブンの毎日の過ごし方を紹介します。「100ぴきかぞく」のスピノフ絵本。(幼0～5歳)



『こくとうびょ〜』 加藤 休ミ／絵

・山風がふく畑で太陽の光をあび、人が手をかけてそだてるサトウキビ。秋の台風にあたえ、冬にかりとられて、山の工房で黒糖にすがたをかえるまでを、サトウキビのこぼれで伝える。壮大な黒糖作りを描いた絵本。(幼0～5歳)



『森の子ウィロ』 エミリー・ヒューズ／著

・森で育った女の子・ウィロは、鳥や熊や狐たちに囲まれてとても幸せだった。でも、ある日、自分と似た姿のへんてこな“どうぶつ”に出会い…。自分であることの尊さと誰にでも収まる居場所があることを優しく物語る絵本。(幼0～5歳)

新しい絵本はほかにもあります。貸出中の時は、予約をしていただくと本が戻ってきた時、連絡します。電話での予約も受け付けていますので、お問い合わせくださいね。



『バナナいつたべる?』 まきの みそら／作・絵

・ぼくは今、悩んでいる。それは、バナナをいつたべるべきなのかってこと。この悩みのせいで、最近は夜もねむれない。みんなにきいてみたけれど、ますますわからなくなってきて…。8月7日のバナナの日にぴったりの絵本。
(幼0～5歳)



『すいかのたね』 押本 達希／作

・ぱっかーんとわれたすいかから、とびだしたひとつぶのたね。「すいかのたね」どこどこ? アリになったり、オタマジャクシになったり、はたまたトランプにかくれたり!? みつけるたのしみがつまった、新感覚の絵さがし絵本。
(幼0～5歳)



『メロとタビのクッキーだいさくせん』 まめきち まめこ／作

・なかよしのきょうだいネコ、メロとタビ。ある日、飼い主さんがクッキーを作ってくれた。飼い主さんが買い物から帰ったら一緒に食べるはずだったのに、メロは留守番中に全部食べてしまい…。クッキーだいさくせんのはじまり!
(幼0～5歳)



『シャボンだまサーカス』 吉田 のぼら／著

・あおぞらサーカス団がまちへやってきました。今回はこぐまのぼうやの初めての舞台。ところが雪が降ってきてしまいました。このままでは玉乗りができません。団長は困っていましたが、シャボン玉を見て、いいことを思いつき…。
(幼0～5歳)



『もぐらけんせつ あなぐましまいのドーナツトンネル』 長崎 真悟／さく

・ドリルジャンボ、ホイールローダーなど、たくさんの重機を使って安全第一でお仕事をする「もぐらけんせつ」。山の向こうのドーナツ屋さんのために、トンネル工事に着手することに…。トンネルができていく過程が楽しめる絵本。
(幼3～5歳)



『まわるお寿司屋さん』 藤重 ヒカル／作

・山のお祭りで、人間たちに人気の「まわるお寿司屋さん」を開くことになったサルたち。でも、どういうお店なのかわかりません。サルたちは知恵を絞る…。サルたちは「まわるお寿司屋さん」を開くことができるのでしょうか。
(幼3～5歳、小初)



『おんぶねこ』 殿本 祐子／作

・いつでもどこでも、こねこをおんぶしているおとうさんねこ。スーパーに行くときも料理をしているときもおんぶしています。ところがある日、「もうおんぶおろして」と言われ…。ワンオペ育児おとうさんねこの日常を描いた絵本。
(幼3～5歳、小初)



『ぼくのすみっこ』 ジョオ／作

・部屋のすみっこに、カラスの子がやってきました。自分だけのおちつくすみっこに、すきなものをあつめていきます。ベッドに、本に、植物に、音楽。でも、なにかがたりない…。
(幼3～5歳、小初)